

研究課題名	難治てんかんの神経病理学及び神経生理学研究
研究の意義・目的	てんかん発作には病的な興奮性が持続されるための異常な神経ネットワークが存在することが想定されてきた。そのネットワークが具体的にどのような経路を示すのかは解明されていない。てんかん性放電を広範囲に投射し、異常な神経ネットワークを形成する pathway を神経病理学的に解明することは、難治てんかんの発症機序の解明と新規治療法開発に有用である。てんかん原性進展の原因として脳内ネットワークを形成する大脳皮質一皮質間または皮質下白質の脳内ネットワークに着目し、白質を構成するミエリンの形成細胞であるオリゴデンドログリアの病理学的な異常を明らかにすることを目的とする。神経生理学検査との相関性を見いだすことで、より高い発作予後を目指した外科切除範囲決定の一助として、寄与する。
研究を行う期間	承認後 ～ 2024年3月31日(西暦)
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2014年4月1日～2022年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の小児科、脳神経外科及び、長崎医療センター小児科、脳神経外科で、難治てんかんの治療のため手術された患者さまが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【手術切除標本】 診療情報等：【年齢、性別、診断名、発作年齢、手術時年齢、手術までの発作期間、発作型、発作予後、血液検査所見、頭皮及び頭蓋内脳波所見、脳磁図データ】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関国立病院機構長崎医療センター小児科、脳神経外科、病理診断科、秋田県立循環器・脳脊髄センター脳神経病理学研究所に頂いた試料・情報を提供します。 共同研究機関国立病院機構長崎医療センター小児科から試料・情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪市立大学医学部 発達小児医学 氏名：佐久間 悟 大阪市立大学医学部 脳神経外科学 氏名：宇田 武弘 大阪市立大学医学部 診断病理・病理病態学 氏名：大澤 政彦 大阪市立大学医学部 発達小児医学 氏名：矢崎 耕太郎 国立病院機構長崎医療センター 小児科 氏名：本田 涼子 国立病院機構長崎医療センター 脳神経外科 氏名：小野 智恵 国立病院機構長崎医療センター 病理診断科 氏名：伊東 正博 秋田県立循環器・脳脊髄センター 脳神経病理学研究所 氏名：宮田 元
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 講師 佐久間 悟
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
連絡先	郵便：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学

2020年12月3日

電話：06-6645-3816

佐久間 悟

メールアドレス： ssakuma@msic.med.osaka-cu.ac.jp